

# あさか山

郡山市立日和田小学校 学校便り  
平成21年 7月 16日発行

## 教育目標

- すすんで学習する子ども
- 思いやりのある子ども
- 強い体でがんばる子ども

## 鑑賞教室

6月23日(金)に劇団「笑う猫」による中国の影絵(ピーインシー)を鑑賞しました。今年は、上学年・下学年に分かれ、下学年は、「スーホの白い馬」上学年は、「西遊記」を観ました。

中国の影絵は、日本の影絵とはまるでちがう色彩豊かで芸術的なもので、中国楽器独特の旋律を聞きながらの本場中国から来た演技者による影絵は、今まで体験したことがない感動を味わうことができたものでした。



これは、影絵の人形の材料です。いったい何でできているのでしょうか。



正解は、牛の皮です。

## スーホの白い馬



3年生の代表が影絵の操作を体験しました。



用務員さんの作った馬頭琴



馬頭琴の生演奏を聞きながらの観劇は、心にしみました。

## 西遊記



6年生の代表が、影絵の操作を体験しました。観るのとやるのでは、大違い。すべるように動かすのは、大変です。



## 観劇した保護者の方からの声

小学校低学年で、他国の文化の中国影絵やモンゴルの伝統楽器(馬頭琴)などどのような形で出来ているか説明を聞きながら知ることが出来たのは、大変よい経験になったと思います。子供たちも影絵の話などは、真剣な眼差しで観ていたのがとても印象的でした。

K.M

中国影絵は、初めてでしたが、幻想的な影絵で流れる音楽も心地よくとても素敵でした。モンゴルの馬頭琴も初めてでしたが、演奏もすばらしくとてもクオリティの高い舞台で感激しました。何よりも子供たちのキラキラとした眼が印象的でうれしく感じました。楽しい時間をありがとうございました。

K.H

中国影絵を初めて観て、とても感動しました。日本の影絵のイメージは、黒い影だけで表現するものだと思っていたので、あんなに色あざやかで、華やかなそして、巧妙な人形の動きの影絵を馬頭琴の生演奏と合わせて鑑賞出来たのは、本当にラッキーでした。物語も娘が2年生の時国語の教科書に載った話だったので親しみもわき、中国文化に直接触れることができてとてもよかったです。

M.H

「西遊記」ととても楽しく観せていただきました。影絵ということだったので、白黒のものを思いうかべましたが、想像とは全くちがうものでした。色がきれいで何より立体を思わせる滑らかな動きは本当に驚きました。ほんの少しでも中国の言葉や芸術に触れられたことはとても貴重な体験でした。機会があったら観てみたいです。用務員の方の作った馬頭琴も素晴らしい!!拍手です!!

N.S

影絵と聞いてモノクロというイメージが強かったのですが、初めて観た中国影絵は、京劇を思わせるような色の鮮やかさや動きをスクリーンに写し出したようで、とても楽しく中国芸術の新しい発見でした。Y.A



おいそがしい中、感想をお寄せいただいた保護者のみなさまありがとうございました。子供たちと同じ体験をして、話をするのも親子のコミュニケーションを深めるのに大切かと思えます。夏休みにぜひ同じ映画を見たり、本を読んだりしてみたいかがでしょうか。